2012年3月17日 個人投資家向け説明会

主な質疑応答

Q. 技術者の特許の保有について

A. 当社では契約の形態として派遣と請負の2種類があります。派遣の場合は基本的にはお客様先で発生した特許はすべてお客様に返還するという契約になっています。請負の場合は、請負元のアルトナーに特許は返還され、アルトナーが特許を保有するという契約になっています。以上のような契約が一般的です。

Q. 技術者派遣事業というビジネスモデルを考えたきっかけについて

A. 当社の設立は1962年(昭和37年)ですが、元々の創業は1953年です。創業当時から京阪神を中心とする製造業との設計業務のやりとりをしていたようです。その中で、まだ派遣という形態・サービスが確立されていないときに、人材の行き来が両社の設計部門間であったようです。

繁忙期や閑散期におけるそのような人材のやりとりがビジネスモデルとして徐々に確立していくなか、1962年(昭和37年)に技術開発をプロモート・コンサルティングする大阪技術センターを設立しました。その後、現在のような技術者派遣事業として確立してまいりました。業務遂行上、自然発生的にニーズとして捉えられた結果、生まれたビジネスモデルです。